

全ての争議を解決し
安全・安心の航空を

航空連ニュース

航空労組連絡会
大田区羽田 5-11-4 フェニックスビル
Tel 03-3742-3251
Fax 03-5737-7819
No.962 (34-12) 2020年2月10日

ダッシュ 20 春闘

生活改善できる賃金引上げ 人員増と勤務改善を目指そう

賃金引き上げや高稼働に労働強化の是正、稼働一辺倒の勤務の見直し、ハラスメント根絶など安全で働きやすい職場に変えるための2020春闘が始まります。2月中旬には各労組の要求も決まり、労使交渉も本格化します。今春闘は、羽田空港の国際線増枠、成田空港の夜間飛行時間制限緩和（1時間短縮）などによる大增便や東京オリンピック・パラリンピックの開催と大きな環境変化を迎えます。大增便に備えた準備、働く者の労働条件改善で真の働き方改革を進めましょう。

企業の内部留保 450兆円超

賃金や労働条件改善に回し内需拡大を

昨年10月の消費税10%への引上げ以降、景気悪化が懸念されています。総務省が発表した家計調査では消費支出が減少し消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が続いています。内閣府が発表した景気動向指数（昨年11月）では4カ月連続して「悪化」としています。

増え続ける企業の内部留保と



東京新聞 (2019年9月3日)

一方、企業の内部留保は450兆円超に膨らんでおり、内部留保を賃上げや労働条件改善に回せば内需拡大と経済の好循環につながります。

連合は4%賃上げ、格差是正など

全労連は月額25000円、時給1500円など

連合は、20春闘要求で「月例賃金にこだわり、賃金の引き上げを目指す」とし、「底上げ」や「格差是正」、定昇含め4%アップ、時給1100円以上を求めていきます。全労連は月額2万5千円以上、時給1500円引上げ、時間外労働の上限規制、勤務インターバル規制などを求めていきます。

IATA、2020年も好業績予想

一方、懸念されるイベントリスク

IATA（国際航空運送協会）は2020年の総収入は4.0%増の8872億ドルと予想し、純利益予想について、2019年見込み比13.1%増の293億ドル（約3兆1830億円）と発表。一方、米中貿易摩擦の影響で航空貨物は減少し、中国武漢で発生した新型コロナウイルスによる中国路線の運休・減便をはじめ世界経済への影響が懸念されます。

ANA・JALの第3四半期決算はともに減益 蓄積される内部留保はともに1兆円超

ANA・JALの第3四半期決算				
単位：億円 下段：前年同期比増減率				
	売上高	営業利益	経常利益	純利益
ANA	15,821 0.9%	1,196 ▲23.6%	1,225 ▲20.5%	864 ▲19.1%
JAL	11,308 0%	1,201 ▲17.4%	1,218 ▲12.1%	763 ▲28.4%

上表のとおり、ANA・JALの第3四半期決算は、ともに減益となりましたが、しっかり利益をあげており、両社の内部留保（資本剰余金+利益剰余金+退職給付負債）はANAが1兆279億円、JALは1兆1463億円を蓄えています。今こそ人材への投資をしっかりと行い、安全で働きやすい職場に変えていくことが求められます。

以上